

[▶ ホーム](#)
学会案内

- [▶ 概要](#)
- [▶ 定款等](#)
- [▶ 組織・役員](#)
- [▶ 学会からのメッセージ](#)
- [▶ 事務局・連絡先](#)

市民の皆様へ

- [▶ 医療における放射線被曝](#)
- [▶ 放射線科の紹介](#)
- [▶ 放射線・原子力関連情報](#)
- [▶ 放射線医学の歴史](#)
- [▶ レントゲンの日](#)

医学生・若手医師へ

- [▶ 若手医師・学生の皆様へ](#)

平成17年度第4回理事会議事録

2006-10-2 22:52:59

日 時 : 平成17年8月27日(土),28(日)
 場 所 : 27日京王プラザホテル43階スパル 18:00~21:00,
 28日京王プラザホテル43階スターライト 8:30~13:00
 出 席 : 石垣武男、遠藤啓吾、大友 邦、久保敦司、杉村和朗、田村正三、中村仁信、西谷 弘、早瀬尚文、平岡真寛、本田 浩、松井 修、山田章吾各理事、
 榎林 勇、伊藤勝陽(監事)、
 欠 席 : 隈崎達夫、宮坂和男理事

議題
議 題

1. 前回議事録の承認
2. 第65回日医放総会について
3. 第16回一次・第14回二次専門医認定試験結果の承認
4. 平成17年度放射線科専門医更新者についての承認
5. 医学物理士受験資格結果について
6. 会計について
7. 日本医学放射線学会雑誌について
8. 学術著作権協会から文献電子化について
9. 代議員選挙について
10. 倫理委員会から個人情報保護法について
11. 専門医新制度について
12. 日本医学会からのがん治療専門医について
13. 癌治療認定医に関するアドホック委員会設立について
14. フィルムマンモグラムのデジタイズに関する報告
15. 冬季セミナーについて・(参加費等)
16. 委員会旅費内規について
17. 日韓放射線会議報告

10月号 第62回心臓血管放射線研究会のご案内

第20回冬季セミナー(案)

放射線科専門医試験第16回一次試験結果

放射線科専門医試験第14回二次試験結果

平成17年度放射線科専門医更新認定者および追加更新認定者

22. その他

・GUTR研究会について

報 告 事 項

1. 委員会報告

編集委員会
将来計画委員会
IT化委員会

2. 地方会規約

議 事:

1. 第3回理事会議事録(案)を承認した。
2. 遠藤会長から、資料に基づき第65回日本医学放射線学会総会の合同企

▶ 入会案内
▶ 会員のみなさまへ

- [▶ What's New](#)
- [▶ 会員向けの情報](#)
- [▶ 学会からの情報・ガイドライン](#)
- [▶ 安全に関する情報](#)
- [▶ 会報・会告](#)
- [▶ 学会誌・出版物](#)
- [▶ 学術大会\(春・秋\)](#)
- [▶ 地方会案内](#)
- [▶ 国際交流](#)
- [▶ 関連学会集会](#)
- [▶ 利益相反](#)
- [▶ 専門医制度](#)
- [▶ 医学物理士制度](#)
- [▶ リンク集](#)
- [▶ 電子放射線診療用語集](#)

会員専用ページへ

 閲覧には会員番号と
 パスワードが
 必要です


日本語

画案である合同シンポジウム、教育講演、等の進捗状況について説明がなされた。

3. 第16回放射線科専門医認定一次試験および第14回放射線科専門医認定二次試験結果の承認

8月27日に京王プラザホテルで行なわれた第16回放射線科専門医認定一次試験は、228名受験し、214名を合格と判定した。また、8月28日、29日に行なわれた第14回放射線科専門医認定二次試験は、259名受験し、219名合格と判定したとの報告がなされ、放射線科専門医認定委員会の判定を承認した。

4. 平成17年度放射線科専門医更新者について

田村理事より、資料に基づき説明がなされた。平成16年度更新対象者は599名で今回の更新有効期限は平成22年8月31日まで、平成15年度認定猶予から追加更新認定者2名、平成16年度認定猶予から追加更新認定者5名の報告がありこれを承認した。

5. 医学物理士受験資格結果について

山田理事より、平成17年の医学物理士受験者は申請者が117名あり、医学物理士認定委員会において受験資格審査を行った結果117名が受験資格認定者として承認された旨報告がなされた。今年度は過去受験資格を取得された受験者を含め受験申込者は136名となり、9月10日に工学院大学(東京都)で試験が行われる予定。また医学物理士の海外研修について山田理事より提案がなされた。

6. 会計について

遠藤理事より、上半期の会計状況について資料に基づき報告がなされた。収入と支出についての現状、将来の学会財務のあり方、改善すべき点などについて説明がなされた。

7. 日本医学放射線学会雑誌について

大友理事長より、現在委託している出版社から学会宛に学会誌について再度要望が出された件について、説明がなされた。理事会でこの件について慎重に審議した結果、理事会の方針としては第2回理事会で決定された内容で委託交渉を進めること確認した。また委託内容について確認を行った。

8. 学術著作権協会から文献電子化について

学術著作権協会より、文献電子化を許諾する権利の委託について学会宛に届いた件について、大友理事長より説明がなされた。内容が把握できない点もあり再度学術著作権協会に確認をすることとした。

9. 代議員選挙について

遠藤理事より、18・19年度の代議員の選挙について資料に基づき説明がなされた。学会誌送付先不明のため選挙区有資格者の追加など会員への選挙に関する案内はメルマガで行う。また選挙管理委員長には石垣理事にお願いすることが了承された。選挙の締め切りは9月30日、その後ホームページに立候補者の名前の掲示を行う。選挙締切日は11月17日とし、開票は11月20日とする。推薦代議員については前回同様各地方会にお願いする。

10. 倫理委員会から個人情報保護法について

山田理事より、すでにメールで各理事にお送りしたプライバシーポリシー案について説明がなされた。理事会でこれを了承、学会ホームページに掲載することとした。また個人情報保護法に関するQ&Aについて倫理委員会でまとめた内容、倫理審査申請書もホームページに掲載することが了承された。

11. 専門医新制度について

松井委員長より、理事会から専門医認定委員会に出された諮問「専門医制度について」に関する専門医認定委員会からの答申について説明がなされた。新専門医制度として「放射線科診断専門医」と「放射線科治療専門医」を明記した分離認定とする。試験内容は現状のまま、1次試験合格者を「放射線科認定医」、2次試験合格者については「放射線科診断専門医」と「放射線科治療専門医」に認定する。また小規模病院において両方の業務に携わる必要がある場合においては「放射線科認定」の資格で行うこととする。

この件について理事会で慎重に審議を行なった結果、上記案について了承、

総会に諮ることとした。

また日本専門医制機構が主導で第3機関を作り、専門医制度の外部評価を行う方向で進められている件について、8月25日に専門医制機構で行われたヒヤリングの報告が資料に基づき説明がなされた。現状の日本医学放射線学会の専門医認定制度では専門医制機構が提示する内容と一致しない部分があり、見直しを行うことで専門医認定委員会で進めているとの報告がなされた。また平岡理事より、専門医研修ガイドライン作成の素案が出来上がり、現在各分野の専門家に評価・チェックを行う段階である。今後は学会のホームページで会員から意見聴取、秋季大会でパネルディスカッションを開催。その上で18年の総会で報告する予定であるとの報告がなされた。これについて教育内容にリスクマネジメントも加えていただきたい旨に意見が出され了承された。

12. 日本医学会からのがん治療専門医について

平岡理事・早瀬理事より、日本医学会からだされたがん治療専門医にかんする件について、日本癌治療学会関連学会委員会が開催された件について報告がなされた。

13. 癌治療認定医に関するアドホック委員会設立について

平岡理事より、がん治療専門医について、日本医学会からだされた提言などからも、今後は日本医学放射線学会と日本放射線腫瘍学会とが、がん治療認定医、放射線治療専門医について整合性の必要がある対応をとる必要との提案が出された。理事会で検討後これを了承、アドホック委員会を設置する提案を日本医学放射線学会から日本放射線腫瘍学会に提案することとした。

14. フィルムマンモグラムのデジタイズに関する報告

石垣理事より、アナログマンモグラムのデジタイズの可否について、厚生労働省側からだされた答申に対する回答を日本医学放射線学会として提出する内容について説明がなされ理事会でこれを了承した。

15. 冬季セミナーについて

大友理事長より、放射線科専門医会・医会からだされた、第20回冬季セミナーについて説明がなされ共催することが承認された。

16. 委員会旅費内規について

遠藤理事より、資料に基づき説明がなされ理事会で了承。内規に加えることとした。

17. 日韓放射線会議報告

松井理事より、宮坂理事からの資料に基づいて第14回日韓放射線医学学術大会の報告がなされた。参加者121名、韓医放から27名、演題数33演題、招待講演5演題、収支決算報告について説明。また第15回日韓放射線医学学術大会は2007年韓国で開催し、会長・開催地の決定は韓医放国際担当のProf. Jas Hoon Limに御願した。第65回日本医学放射線学会総会への招待講演者については、教育委員会で講演領域を決定後、韓医放に講演者の依頼をすることを確認した。

18. 会告について

10月号 第62回心臓血管放射線研究会のご案内

第20回冬季セミナー(案)

放射線科専門医試験第16回一次試験結果

放射線科専門医試験第14回二次試験結果

平成17年度放射線科専門医更新認定者および追加更新認定者

19. その他

・第1回泌尿器腫瘍放射線(GUTR)研究会について

平岡理事より資料に基づき説明がなされた。

・平成17年度日本医学放射線学会研究助成について大友理事長より今年度の応募者は20件あり、1件は応募資格がなく返却、現在選考委員に審査依頼中であるとの報告がなされた。また遠藤理事より、この研究助成について援助いただいている日本シェーリング社より平成18年度からさらに3年間の研究助成延長の申し出をいただいたとの報告がなされた。

報告事項

1. 委員会報告

・編集委員会

久保編集委員長より、和文誌として最後の発行となる10月号の内容について説明、またRadiation Medicine のInternational Advisory Board について見直しを行いたい旨の提案がだされ各理事から編集委員会に推薦者を出すこととした。また、今年度の優秀論文賞については英文誌も選考の対象としたい旨の提案があり了承された。

・将来計画委員会

早淵委員長より、7月に開催された委員会の報告がなされた。卒後臨床研修医制度についてのアンケート結果について10月号に掲載予定で進めている。また、このアンケートは引き続き来年も実施することとなった旨報告がなされた。

・IT化委員会

遠藤理事より、8月2日に委員会が開催され、1)学会サーバー管理、2)学会ホームページ、3)専門医画像症例登録、4)会員管理、5)専門医資格更新に関するデータベース化などについて話し合われた旨の報告がなされた。1)、2)、3)、4)については今後も検討を進め、5)の専門医資格更新については現在専門医制度の内容について専門医認定委員会で検討中であり、学会の方向性が決定された上で検討することを確認した。

2. 地方会規約

中国・四国地方会から地方会規約の一部変更について報告がなされた。今後も学会と地方会は連絡を取りながら活動を進めることを確認した。

[このページのトップへ戻る](#)